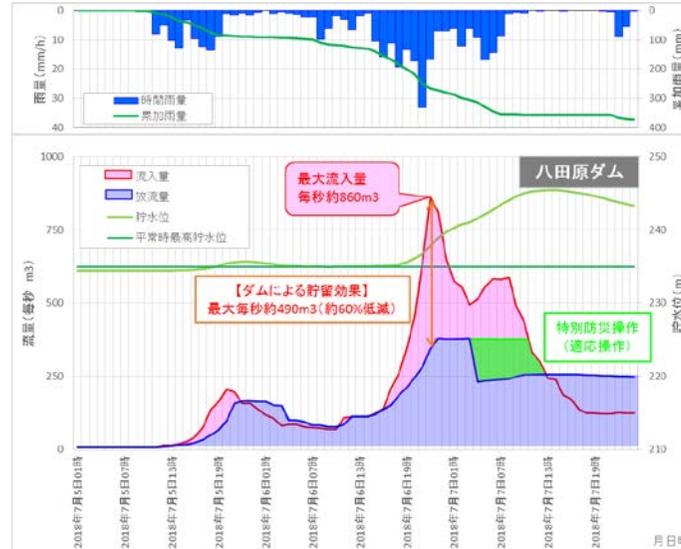


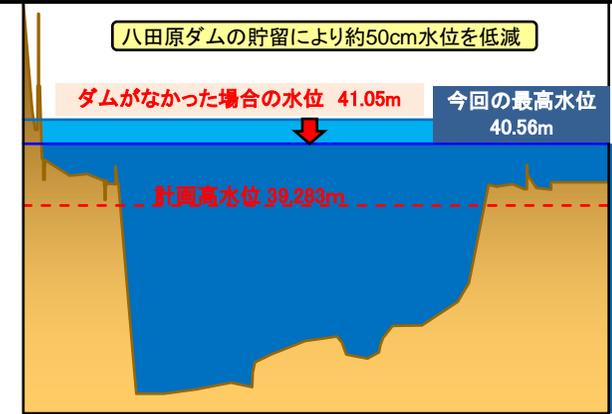
# 八田原ダムの効果

- 芦田川水系芦田川に位置する八田原ダムでは、平成30年7月5日からダムの防災操作を行いました。
- 今回の豪雨では、平成10年4月の管理開始以降、最大の流入量(毎秒約860m<sup>3</sup>)に達し、このうち毎秒約490m<sup>3</sup>の洪水をダムに貯めました。
- その結果、府中市父石町の水位を約50cm低減させ、浸水被害を軽減させたと推定されます。またその後、特別防災操作を実施し、同地点で約40cm水位低減する効果があったと推定されます。

## ■ 等雨量線図 ※中国地方整備局作成



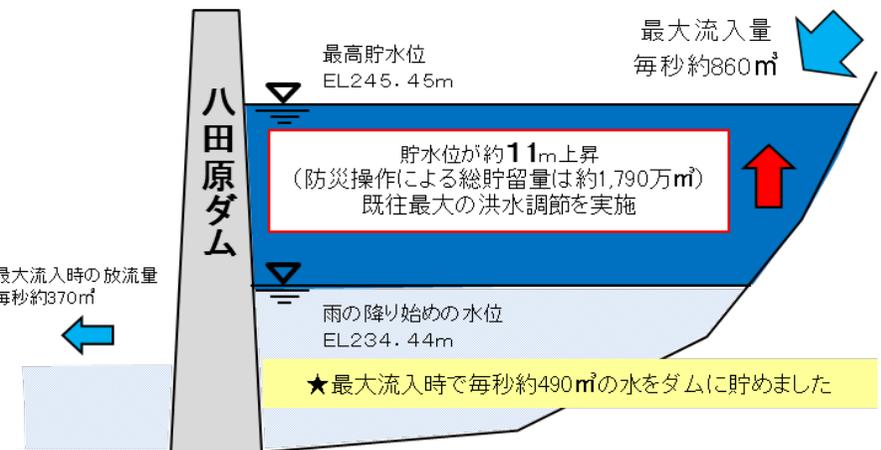
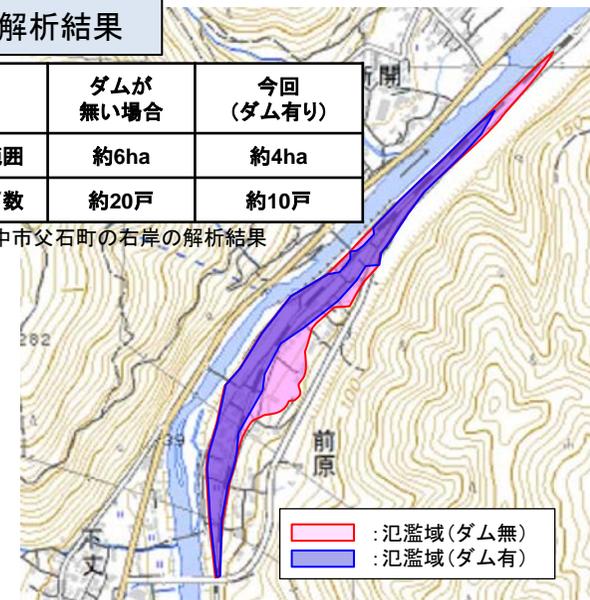
## 府中市父石町における水位低減効果



## 氾濫解析結果

	ダムが無い場合	今回(ダム有り)
浸水範囲	約6ha	約4ha
浸水戸数	約20戸	約10戸

※府中市父石町の右岸の解析結果



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の精査等により変更する場合があります。